

1 湛水土中直播栽培（カルパー）

(1) 生育状況

平年に比べて、草丈、葉齢、葉色は並み、茎数は多くなっている。
葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、茎数は多く推移している。

表1 6月18日現在の生育状況（湛水土中直播栽培コシヒカリ）

年次	播種日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色
R元	5/2	34.8	535	7.9	4.2
H30	5/1	34.5	434	7.8	4.2
平年	5/2	35.0	471	7.9	4.3
前年比・差	1	101	123	0.1	0.0
平年比・差	0	99	114	0.0	-0.1

注) 平年はH21～30年の平均値

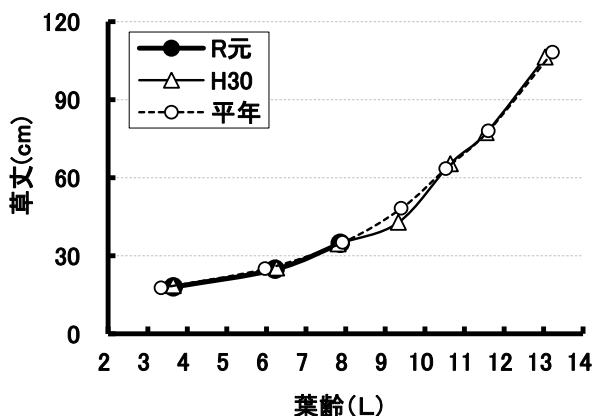


図1 草丈の推移（湛水土中直播コシヒカリ）

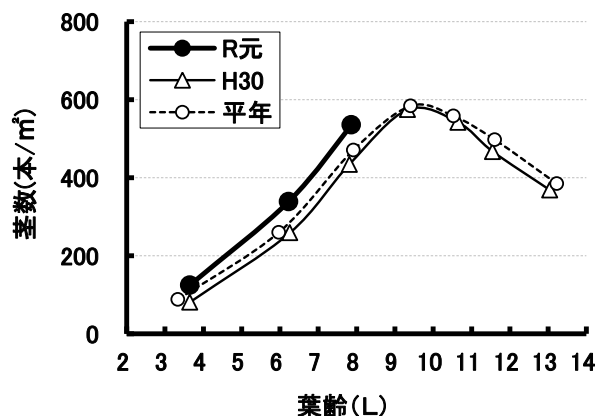


図2 茎数の推移（湛水土中直播コシヒカリ）

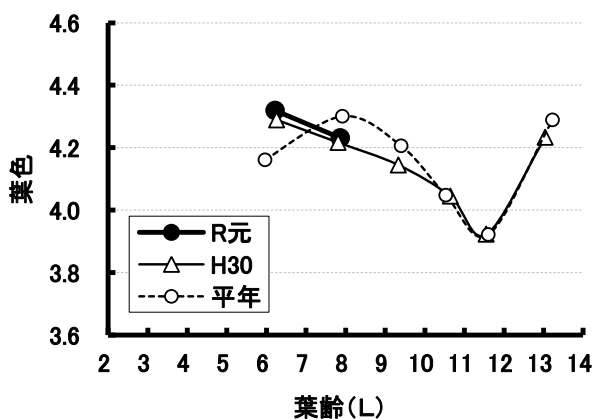


図3 葉色の推移（湛水土中直播コシヒカリ）

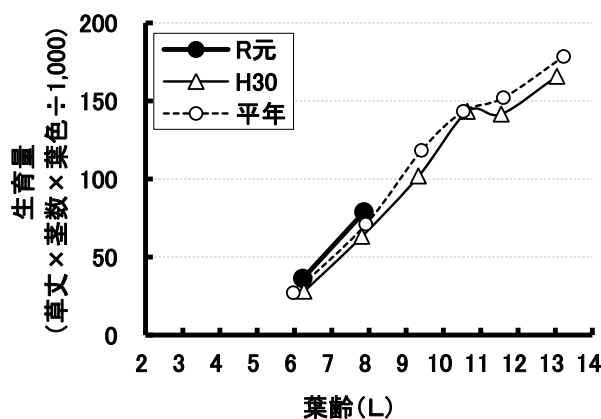


図4 生育量の推移（湛水土中直播コシヒカリ）

(2) 当面の技術対策

- ・ 平年に比べて茎数が多くなっていることから、幼穂形成期まで落水期間が長めの間断かん水を実施する。
- ・ 中干しと間断かん水で、幼穂形成期頃までに足跡の深さ 3cm 程度の土壌硬度に誘導する。

① 水管理

- ・ 平年に比べて茎数が多くなっていることから、過剰籾数を防ぐため、幼穂形成期まで落水期間が長めの間断かん水を実施する。
- ・ 中干しとその後の間断かん水とあわせて、幼穂形成期頃までに足跡の深さ 3 cm 程度の土壌硬度に誘導する。
- ・ 幼穂形成期以降は、稲体の水分要求量が高まるので、飽水管理を行う。

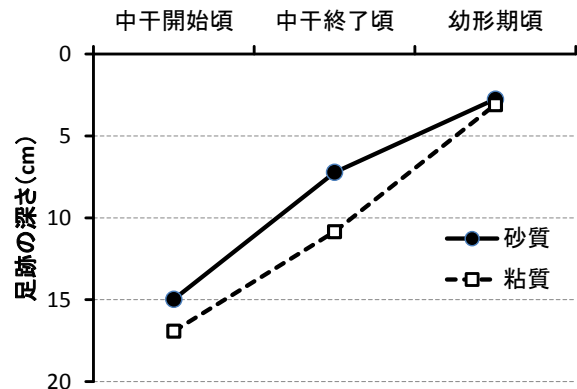
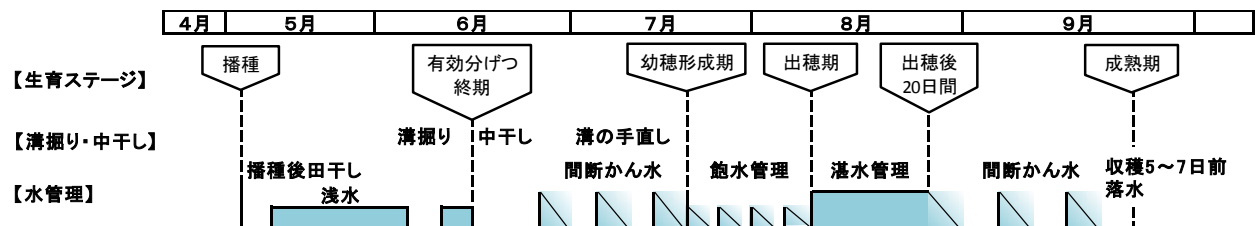


図 5 ほ場中央部の足跡の深さの推移 (H22、23 生育観測ほ)

<水管理のイメージ>



② 病虫害防除

<いもち病> ※平年の葉いもちの初発確認日は7月6日 (H30: 未確認)

- ・ 予防剤を散布していないほ場は、直ちに施用する。
- ・ 県内では、6月8、10日に葉いもちの感染好適日が出現している。BLASTAM 情報 (農業研究所) を参考に、常発地を中心に巡回し、葉いもちの発生がみられたら直ちに防除する。

BLASTAM 情報 (葉いもち予測システム) HP の URL

http://taffrc.pref.toyama.jp/nsgc/nougyou/link_flat.phtml?TGenre_ID=314&t=pdf2
(農林水産総合技術センター農業研究所 HP の研究関連情報に掲載)

<紋枯病> ※平年の紋枯病の初発確認日は6月23日 (H30: 6月25日)

- ・ 前年多発したほ場や、「てんこもり」では、出穂3~4週間前 (粒剤) または、穂ばらみ期 (粉剤、液剤等) に防除を行う。

<カメムシ類>

- ・ イネ科雑草の穂が出ないよう畦畔等の草刈りを徹底する。

※ 草刈り運動期間: 7月1日~10日 一斉草刈り日: 7月6日~7日

- ・ 本田内のノビエやホタルイもカメムシによる被害を助長するので、除草に努める。

<白葉枯病>

- ・ 大雨により浸水や冠水した場合、白葉枯病が発生しやすくなるので、常発地等では、オリゼメート1キロ粒剤等を出穂3~4週間前に散布する。

2 湛水表面直播栽培（鉄）

（1）生育状況

近年に比べて草丈はやや長く、茎数はかなり多く、葉齢、葉色は並みとなっている。

葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は近年並み、茎数は多く推移している。

表2 6月18日現在の生育状況（湛水表面直播栽培コシヒカリ）

年次	播種日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色
R元	4/30	34.8	555	8.3	4.3
H30	4/30	31.2	425	7.7	4.3
平年	5/1	32.7	445	8.2	4.3
前年比・差	0	111	131	0.6	0.0
近年比・差	-1	106	125	0.1	0.0

注) 近年はH26～30年の平均値

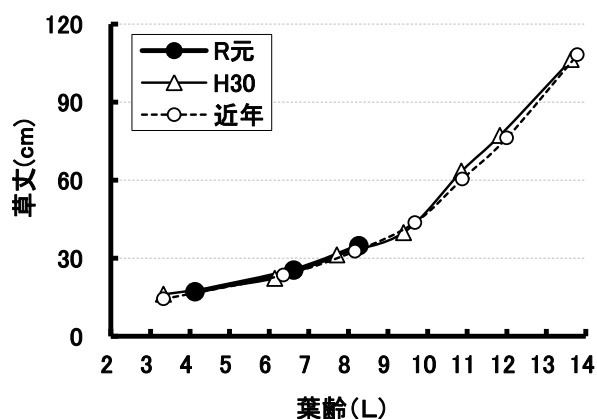


図6 草丈の推移（湛水表面直播コシカ）

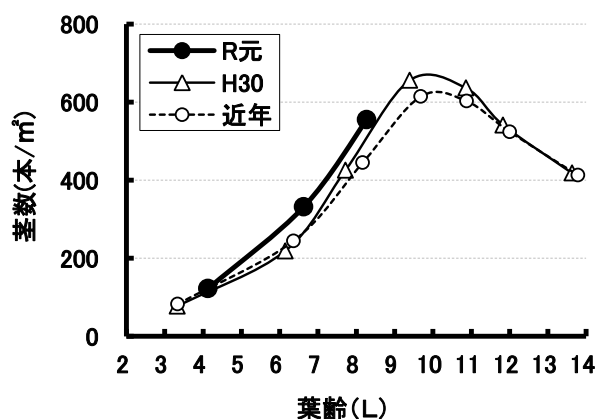


図7 茎数の推移（湛水表面直播コシカ）

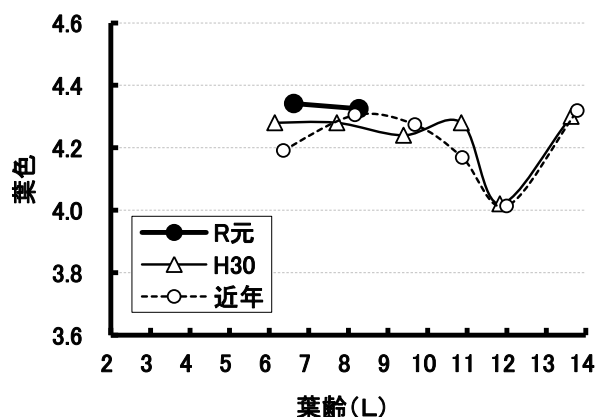


図8 葉色の推移（湛水表面直播コシカ）

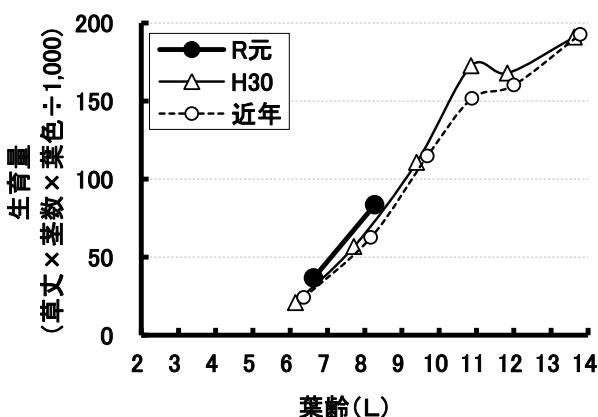


図9 生育量の推移（湛水表面直播コシカ）

（2）当面の技術対策

平年に比べて茎数が多くなっていることから、過剰籾数を防ぐため、幼穂形成期まで落水期間が長めの間断かん水を実施する。

中干しとその後の間断かん水とあわせて、幼穂形成期頃までに足跡の深さ3 cm程度の土壌硬度に誘導する。

中干し後の水管理及び病虫害防除は、湛水土中直播栽培に準ずる。

3 乾田 V 溝直播栽培

(1) 生育状況

平年に比べて草丈は長く、茎数は多く、葉色は並となっている。葉齢は平年に比べて0.8葉進んでいる。

葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は平年並みに推移している。

表3 6月18日現在の生育状況（乾田V溝直播栽培コシヒカリ）

年次	播種日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色
R元	4/19	36.3	526	7.4	4.3
H30	4/19	33.9	512	7.1	4.2
平年	4/22	31.6	466	6.6	4.3
前年比・差	0	107	103	0.3	0.1
平年比・差	-3	115	113	0.8	0.0

注) 平年はH21~30年の平均値

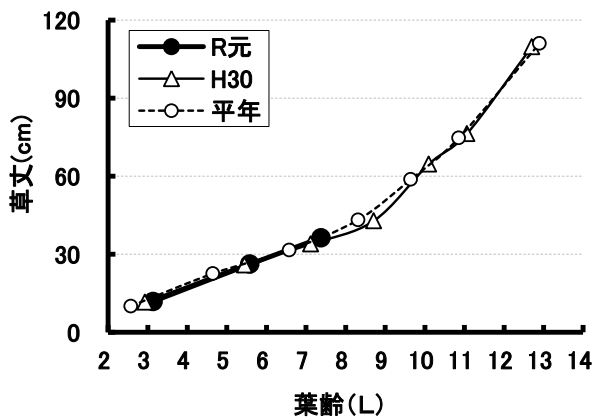


図10 草丈の推移（乾田V溝直播コシヒカリ）

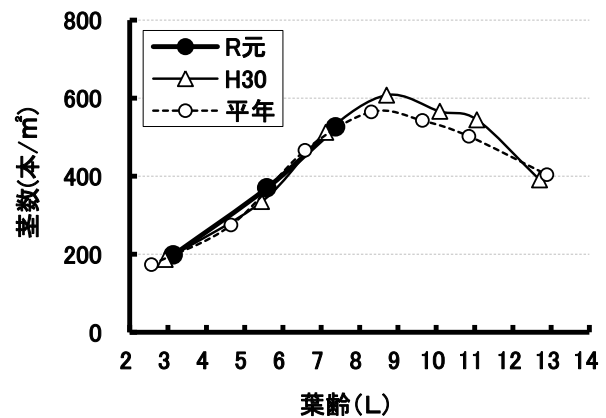


図11 茎数の推移（乾田V溝直播コシヒカリ）

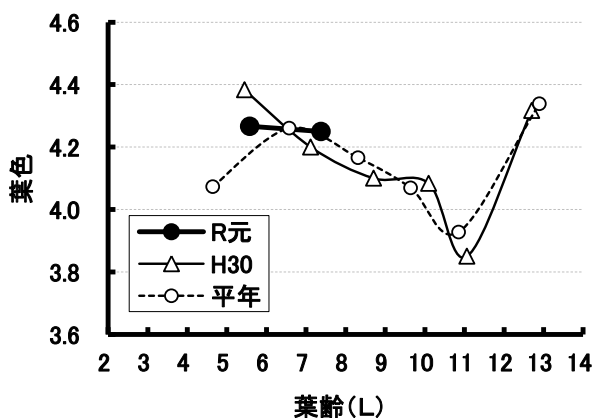


図12 葉色の推移（乾田V溝直播コシヒカリ）

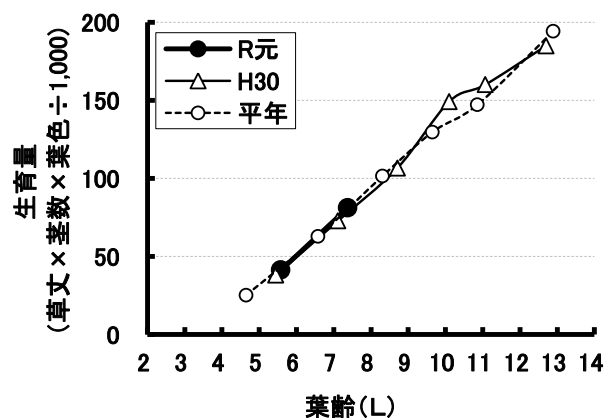


図13 生育量の推移（乾田V溝直播コシヒカリ）

(2) 当面の技術対策

葉色の低下を防ぎ、抑草期間を維持するため、今後、成熟期の1週間程度前まで深水管理（水深10cm程度）を徹底する。

病虫害防除は、湛水土中直播栽培に準じる。